

令和元年9月27日

東日本高速道路株式会社 北海道支社

冬期の高速道路の安全な交通確保に努めます ～24時間体制で気象や道路状況の把握と除雪作業にあたります～

NEXCO東日本北海道支社(札幌市厚別区)は、令和元年10月16日から令和2年4月30日までの198日間を「雪氷対策期間^{せっぽう}」と位置づけ、24時間体制で気象や道路状況の把握と除雪作業にあたります。

お客さまにおかれては、冬用タイヤ装着など早めの冬装備をお願いするとともに、雪氷対策作業へのご理解とご協力をお願いします。

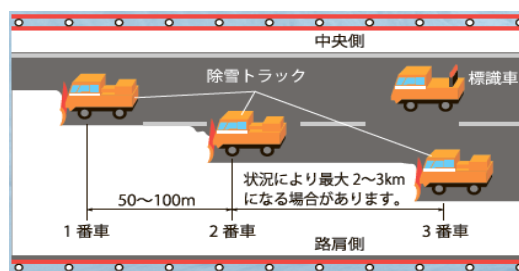
10月7日から15日にかけて、冬期の高速道路の安全な交通確保と雪氷対策作業の無事故を祈願する「雪氷対策出陣式」を全道6カ所の管理事務所で行います。(日時等詳細 次項3参照)

1. 除雪作業のお願い

①除雪車の低速走行にご協力をお願いします。

路面上に降り積もった雪が踏み固められる前に
行う除雪で、除雪トラック3台と標識車1台の組み
合わせにより時速50km以下で作業を行います。

速度を落として車間距離を十分に確保し、追行
をお願いします。



②凍結防止作業時の追い越しにご注意下さい。

路面凍結が予測される場合、事前に凍結防止
剤を散布します。

散布中の作業車を追い越す際は、凍結防止
剤が車にかかる恐れがありますので、十分ご注意
下さい。



③天候が回復しても路面状況により、除雪、凍結防止剤散布、路肩部排雪などの作業を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、高速道路ならではの除雪方法については、**別紙1**をご覧ください。

2. 交通事故・降雪状況(詳細:**別紙2**)

北海道の冬期の高速道路では、雪や凍結による路面状況から、ハンドルやブレーキ操作ミスによる事故が夏に比べて約4.9倍と増加しています。気象や路面状況に応じた安全運転に心掛けて頂きますよう、お願いします。

また、冬用タイヤ装着など早めの冬装備をお願いします。

なお、昨シーズン(平成30年10月～平成31年4月)の北海道内の高速道路の累計平均降

雪量は約400cmで、特に多かった箇所は、常磐トンネルの988cmでした。

3. 雪氷対策出陣式の日時

全道6カ所の管理事務所で、合計約370名の関係者と約145台の作業車が参加します。

日時	場所	人員・参加作業車	管理事務所
10月7日(月)11:00～11:30	E5 道央道 室蘭IC	約60名・約30台	室蘭
10月7日(月)11:00～11:30	E5 道央道 苫小牧西IC	約60名・約30台	苫小牧
10月9日(水)10:00～10:30	E38 道東道 音更帯広IC	約70名・約10台	帯広
10月11日(金)13:30～14:30	E5 道央道 岩見沢IC	約50名・約10台	岩見沢
10月15日(火)9:30～10:30	E5 道央道 北広島IC	約70名・約35台	札幌
10月15日(火)11:00～12:00	E5 道央道 旭川鷹栖IC	約60名・約30台	旭川
※雨天の場合は、車庫で行います。		合計	約370名・約145台



玉ぐしを捧げ、無事故を願う神事を行います



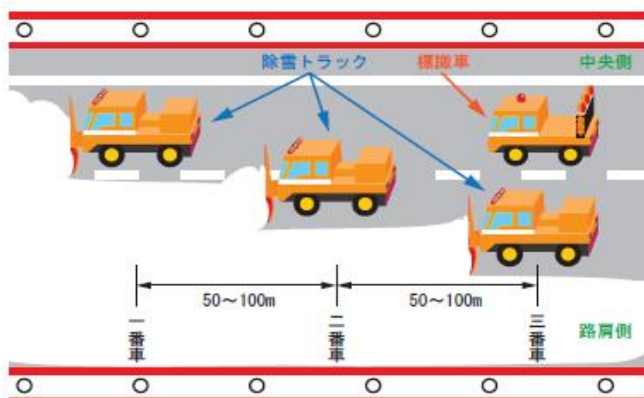
神事後、作業車両が出動します

NEXCO東日本の除雪作業～高速道路ならではの除雪

別紙1

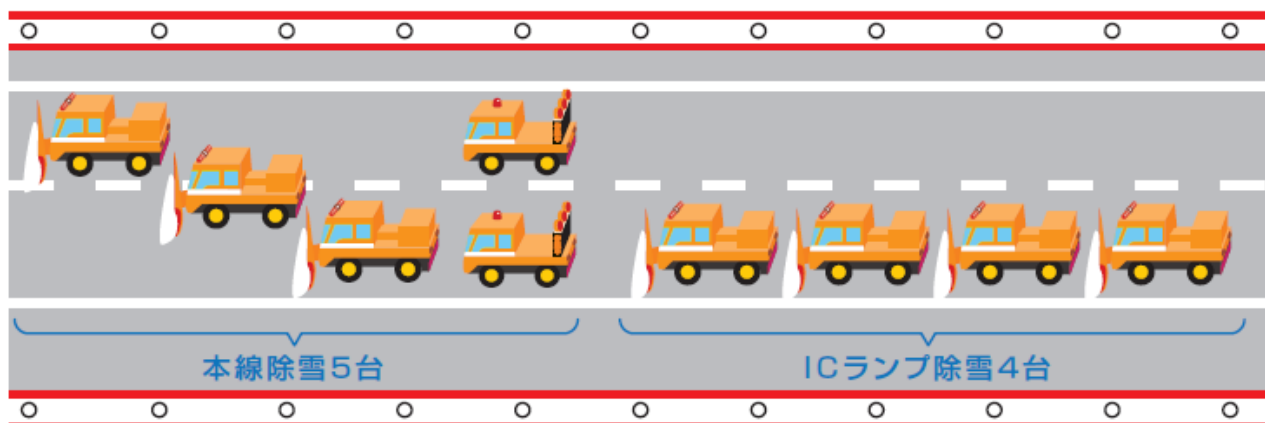
短い時間で複数の車線を除雪するため、高速道路ならではの以下の除雪方法を採用しています。

一般除雪



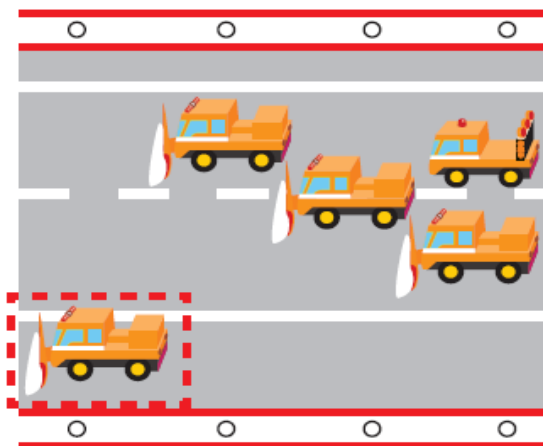
除雪トラックを3台組み合わせて低速走行しながら除雪します。

マルチ除雪



除雪車7台+標識車2台で作業します。一般除雪より作業速度が向上します。
重交通区間である札幌南ICから札幌西IC間等で採用しています。

パワー除雪

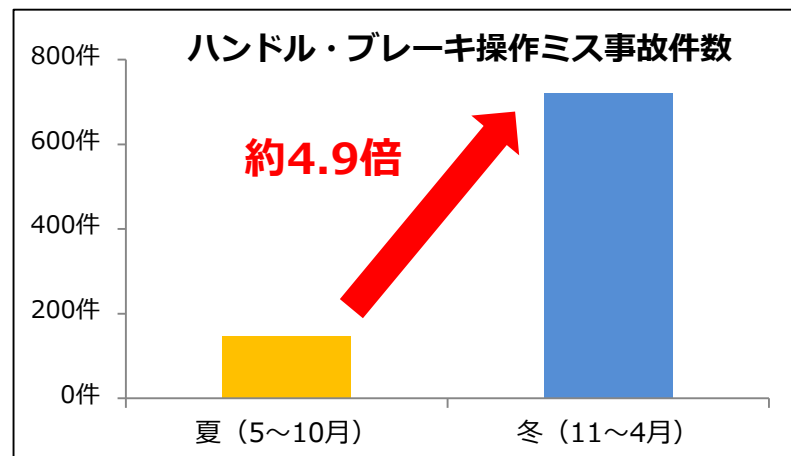


除雪トラックを4台組み合わせて除雪します。
厳冬期の長時間強降雪時の車線確保対策として編み出した方法です。
4台目の除雪車を先行させ、路肩堆雪部を拡幅する作業を、車線の除雪と同時に行います。
除雪の効率化・確実な車線確保・交通事故防止の実現を図ってます。

冬期の高速道路の交通事故・降雪状況

別紙2

(1)交通事故状況



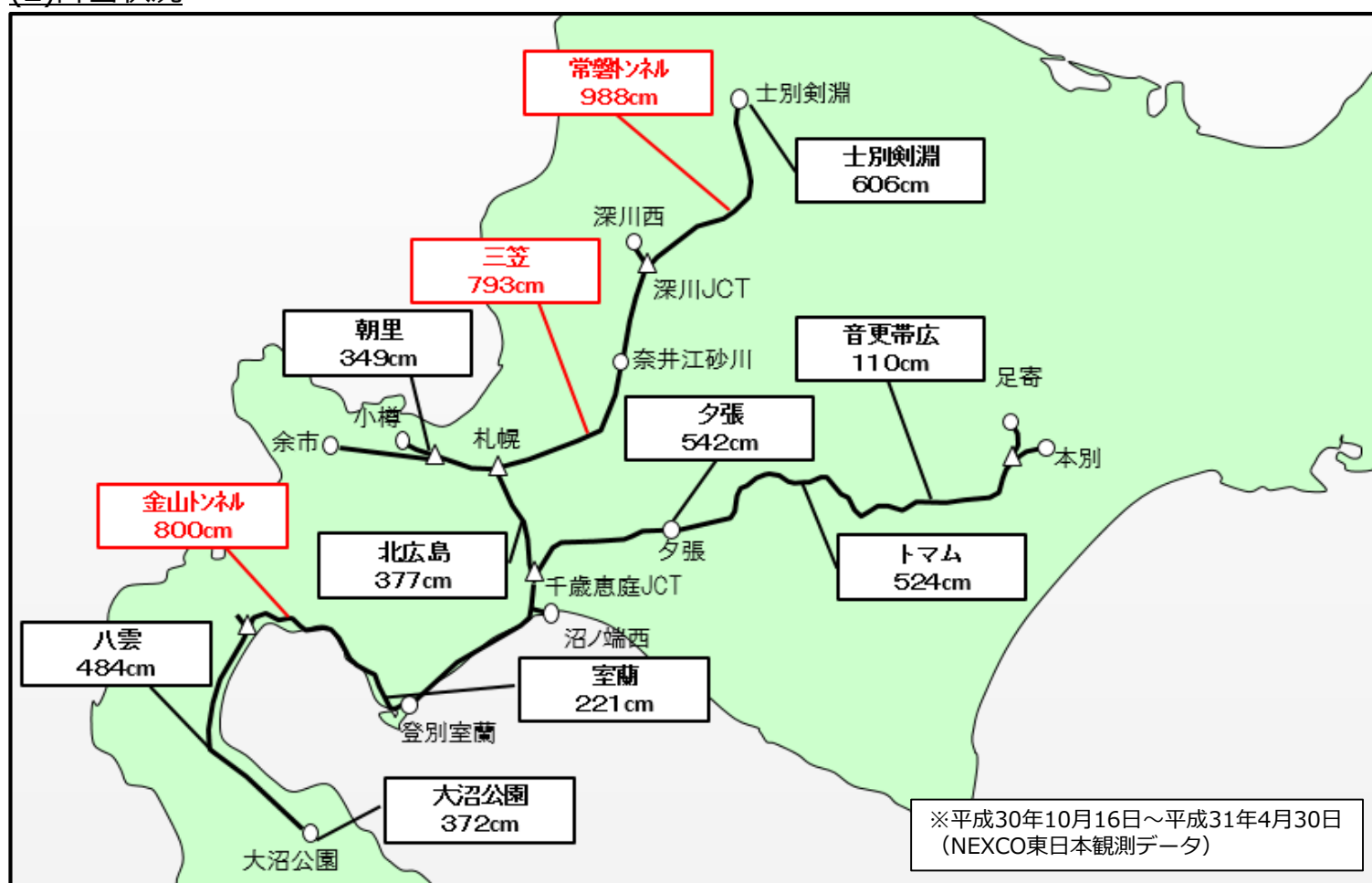
※対象期間：平成30年5月～平成31年4月、事故件数：当社調べ

冬は夏に比べて、その路面状況からハンドル・ブレーキ操作ミスによる事故が約4.9倍と増加しています。

夏と同じ感覚でスピード・ハンドリング・ブレーキの操作は非常に危険ですので、細心の注意を払い走行をお願いします。

また、冬用タイヤ装着など早めの冬装備をお願いします。

(2)降雪状況



①昨シーズンの北海道内の高速道路の累計平均降雪量は、約400cmでした。また、特に多かった地域の累計平均降雪量は下記のとおりです。

- 1位 常磐トンネル 988cm (道央道 深川IC～旭川鷹栖IC)
- 2位 金山トンネル 800cm (道央道 豊浦IC～黒松内JCT)
- 3位 三笠IC 793cm (道央道)

②昨シーズンの雪氷作業にあたった作業車の総走行距離は地球約7.6周分でした(約30.4万km)。
NEXCO東日本では、24時間体制でお客さまの安全をお守りするため、除雪作業に取り組んでいます。

